

令和7年度 女性の活躍に関する意見交換会 発言要旨（50音順）

株式会社 Kiyomari 代表取締役 青木彩乃さん

森林資源を活かした香りを活用したウェルビーイング事業（植物や木材を蒸留したアロマから開発したルームフレグランス、森案内や蒸留体験などのサービス提供等）



山間地域でも女性がやりがいを持ちながら働くことができたらいいなと思って起業しました。会社で地域おこし協力隊を受け入れるときには、オンライン説明会、現地での体験会を行い、実際に東栄町に宿泊して田舎暮らしを体験してもらいました。移住者が増えていたり、飲食店も充実していたり、暮らしの余白を感じられる所なので、やりたいことをしっかり持っている方には、ここはとてもよいと思います。

御宿清水館 女将 石田三千枝さん

奥三河魅力創造カンパニー登録 外国人ツーリストおもてなしシンポジウムパネリスト 豊根村サウジアラビア交流委員 清水館 HP「chakoの山村通信」で情報発信



コロナ禍で状況が激変しましたが、創業140年、従業員なしの家族経営の旅館を次世代につなげていきたいと思っています。豊根村にも2拠点生活の方やカフェの開業を目指す地域おこし協力隊の方が来ています。豊根村の魅力を含めて、冬の降雪対策や十分でない公共交通機関への対応の仕方など、43年間の豊根村くらしの経験をもとに、自分なりの答えを移住者に伝えています。

Belle et jolie 久嶋里奈さん

2024年9月1日作手地区に美容室「Belle et jolie」を開業 市民まちづくり集会実行委員 女性議会議員 市政番組「いいじゃん新城」ナビゲーター



市民まちづくり集会実行委員会や女性議会、市政番組のナビゲーターなどを経験して、自分に自信がついてきました。起業に必要な事業計画を作るときには、これからどうしていきたいか、10年後の奥三河地域がどのように変化しているか、どういう人がどういうものを求めているかを考えました。自分がどんな人とつながりを深めていきたいかと考えること、この地域の情報を収集することが大事だと思います。

合同会社まちゴト 代表 白井美里さん

主に東栄町での働き手を募集する採用代行サポート・企画 PR 業 とうえい健康福祉
のまち・ひと・しごと事業の支援 奥三河初の女性専用シェアハウス開業



事業を進めるに当たって、商工会さん、観光協会さんにお世話になりました。事業所の社長さんとも、パパ友、ママ友や消防団でのつながりでお付き合いがしやすくなりました。就職のマッチングでは、就職希望者に「本当はどんな人生を送りたいか」という本音を丁寧に聞かせてもらいます。現場を見て、この場所、この企業で、自分のやりたい暮らしができるかをジャッジしてくださいと伝えています。

児童養護施設八楽児童寮 スーパーバイザー 手塚美幸さん

親の支援、児童相談所との連絡調整、職員支援、地域支援を中心に活動中。
訪問型子育て支援「ホームスタート」に尽力



新城市の広報誌で「ホームスタート」のボランティア募集をしました。1回目に7人、2回目に6人もの方が応募してくださり、新城市民の人柄の温かさを感じました。私は引っ込み思案で人とのつながりがありました。が、「ホームスタート」を始めて人とのつながりの大切さを学びました。ちょっと行けば山、ちょっと行けば都市部というこの地域は、ゆったりと子育てができて、心も癒されます。

古民家再生プロジェクト 蔵リトリート DAIKOKUTEN ブーススペイン真理さん

蔵を改装したゲストハウスを運営 宿泊、ワークショップ、イベントを通して、持続可能な田舎暮らしのモデルとして世界に発信中



おにぎり屋さん主催の「東栄町の空白の1日」を通して、不動産会社の矢澤さんと縁ができ、事業計画の助言もしてもらいました。高校の同級生阿部裕志氏を招いて、「奥三河イニシアチブ Vol.1『奇跡の島・海士町からの学び』」を開催しました。地方への移住を考えている人の背中を押していきたい。①自分が好きで続けられること②地域のためになること③収入を得られることの3つが大事だと思います。

新城市地域おこし協力隊 ボールソン祐子さん
外国人ツーリストおもてなしシンポジウムパネリスト
英語地域ガイド業、外国人向けコンテンツ作成などの旅行業に励む



NPO 奥三河田舎暮らし隊に問い合わせて、阿寺の七滝近くの素敵な集落の家を購入しました。いろいろなところに顔を出し、イベントでは手伝いをするなどして、数珠つなぎで顔見知りが増え、困ったことを相談させてもらい、逆に手伝ってといわれる立場にもなりました。水資源の豊富な奥三河を守りたい、お金、コスパ、便利さを求めるのではなく、面倒くさいことをたくさんやって地域に還元したいと思います。

伸和建设株式会社 益子茜さん
住まい何でもお任せ隊担当(住宅困りごと相談、住宅関係の施工管理)
元豊根村緑のふるさと協力隊(地域滞在型ボランティア)



緑のふるさと協力隊の1年間の任期を終えるころ、「条件が合ってよいご縁でつながれば、村に残ってもいいかな。」と話しました。表に出していない情報を紹介していただき、よい住宅が見つかりました。前職の栄養士の経験を生かしたいと思っていましたが、未経験の職種に就職しました。いちばん大事なのは、ここで暮らしていけるだけの地域とのつながりを作れるかどうかだと思います。

設楽町地域おこし協力隊 山口晃奈さん
したらワークス協同組合 事務局 元 JICA 海外協力隊(タイ王国で活動)
料理で起業を目指す



設楽町の地元の食材や旬の食材について、地域のお母さん方にいろいろと教えてもらっています。人口の少ない地域だからこそその良さがあります。住民会議などで自分の意見が言える、行政と近い距離感で活動ができます。自分の意見をしっかりと持って、軸ができていれば、とても活躍しやすい地域だと感じます。人と会って、山で暮らして、四季に触れて、設楽愛が育まれています。

設楽町地域おこし協力隊 山田幸子さん

したらワークス協同組合 事務局 (移住相談・仕事づくり・新たな飲食業の開業支援)
米粉を使ったパン屋の開業を目指す



したらワークス勤務を通して、町の方々とつながることができてうれしく思います。空き家などの住宅の情報、農地借用の情報などで困っていると、地元の方が外には出ていない情報を含めて教えてくれます。地域とのつながりを大切にするために、お祭り、イベントには必ず家族で参加しています。内外の情報は常にアップデートしています。自分の考えを壁打ちできるメンターを見つけることも大事ですね。

Aさん

イベントのフライヤー制作や課題解決のためのグラフィックデザインを行っています。自然の多い場所で暮らしながら、デザインの仕事を続けていこうと思います。インターネットを通して、設楽町のデザイン事務所の方とつながったのがきっかけでした。暮らしと仕事が別れてしまうことに違和感が生まれ、どんな環境で、どんな人のそばで、どんな暮らしをしたいかを大事にしていった先に、自分に合う場所が見つかると思って動き出しました。